

2nd Announcement

平成16年度 学会年次大会(新潟)

【獣医師生涯研修事業認定プログラム】



写真提供：新潟県佐渡トキ保護センター

平成**17**年**2**月**10**日(木)～**12**日(土)
会場：新潟コンベンションセンター(朱鷺メッセ)

主催／日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会・(社)日本獣医師会

共催／(社)新潟県獣医師会 協力／中部獣医師会連合会

後援／農林水産省・厚生労働省・新潟県・新潟市

平成16年度学会年次大会（新潟）のご案内

このたび、日本獣医師会、日本産業動物獣医学会、日本小動物獣医学会および日本獣医公衆衛生学会の三学会は、平成16年度学会年次大会を新潟県獣医師会の協力により、新潟コンベンションセンター（朱鷺メッセ）において開催します。

今年度の年次学会のプログラムは、現在注目を集めているテーマによる特別講演、シンポジウム、教育講演など多彩な内容をもって企画しており、学術交流の場として、また親睦を深める場として、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

【日程のご案内(予定)】

会場	日時	2月10日(木)																2月11日(金・祝)																2月12日(土)											
		11	12	13	14	15	16	17	18	8	9	10	11	12	13:30	14	15	16:30	17	18	19	21	8	9	10	11	12																		
第Ⅰ会場 2階スノーホールA (500名)	登 録 受 付	産業動物 (特別講演) (シンポⅠ) 家畜の福祉 (義塚場HACCP Dr. stafford)																公衆衛生 (科研費市民公開シンポ) 食の安全																産業動物 (科研費市民公開シンポ) 安全・安心の畜産物											
第Ⅱ会場 2階スノーホールB (500名)		小動物 (教育Ⅰ) 小動物の麻酔																小動物 (シンポⅠ) 門脈大静脈シャント																産業動物 (シンポⅡ) 牛の気になる疾患											
第Ⅲ会場 2階中会議室 201 (200名)		小動物 (地区①～③・記念)																小動物 (一般①～③、 研報①～③)																小動物 (シンポⅡ) 脳脊髄疾患											
第Ⅳ会場 3階中会議室 301 (200名)		産業動物 (地区①～③・記念)																産業動物 (一般①～③、 研報①～③)																産業動物 (一般①～③、 研報①～③)											
第Ⅴ会場 3階中会議室 302 (200名)		公衆衛生 (地区①～③・記念) (特別講演) 化学物質による健康被害																公衆衛生 (一般①～③、 研報①～③)																小動物 (一般①～③、 研報①～③)											
第Ⅵ会場 4階マリン ホール (550名)		小動物 (教育Ⅱ) 小動物の栄養 Dr. Freeman																小動物・公衛 (合同教育講演) 動物・人の健康																産業・公衛(合同シンポ) 高病原性 鳥インフルエンザ											
展示会場	獣医関係企業展示																獣医関係企業展示																獣医関係企業展示												
関連会議	◎学会機関誌編集委員会 (18:00～19:30)																◎学会長賞・学術奨励賞審査会(8:30～9:00) ◎三学会合同理事会 (12:15～13:20) ◎三学会合同定期総会 (18:00～19:00)																												

平成16年度学会年次大会(新潟)で発表を希望される方へ

(日本産業動物獣医学会、日本小動物獣医学会、日本獣医公衆衛生学会)

三学会ではそれぞれ次の区分で発表演題を募集します。発表を希望される方は、所定の申込書により学会事務局へお申込みください。発表申込書は、日本獣医師会雑誌7月号に同封して送付しました。なお、発表者および獣医師である共同研究者は会員に限ります。

- *一般演題(口頭発表)：未発表の演題を募集します。(申込締切：9月末日)
- *研究報告(既発表演題)：日本学術会議に登録された学術研究団体が主催する学会(地区三学会も含む)で発表したもの(既発表)であって、再度発表を希望される演題を募集します。(申込締切：9月末日)
- *地区学会長賞受賞講演：全国の地区三学会で平成16年度地区学会長賞を受賞した演題を募集します。この講演の中から平成16年度の学会長賞を決定し、受賞者には日本獣医師会獣医学術奨励賞「奨励賞」(本賞および副賞として研究奨励金)が授与されます。(申込締切：10月末日)

事前登録・平成16年12月末日まで

催し物のご案内 平成17年2月11日(金)

- *学会年次大会開会式(学会長賞・獣医学術奨励賞授与式)
学会年次大会の開会式および三学会会長賞ならびに獣医学術奨励賞の受賞者の発表と賞の授与を行います。受賞対象者は必ずご出席ください
- *三学会合同定期総会
三学会それぞれの会則に基づき、学会の運営等について協議する定期総会を三学会合同で開催いたします。会員の皆様お誘い合わせのうえご出席ください。
- *懇親パーティー
開会式に続いて懇親パーティーを開催します。ご参加の皆様親睦を深めていただく絶好の機会として、お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

【お問い合わせ先】

◆学会のプログラムに関するお問い合わせ

日本獣医師会内・学会事務局
TEL 03-3475-1601 FAX 03-3475-1604 E-mail: nichiju@group.lin.go.jp

◆学会の登録、広告、展示等に関するお問い合わせ

(社)新潟県獣医師会
TEL 025-284-9298 FAX 025-281-1368 E-mail: sinkenju@sage.ocn.ne.jp
URL: http://www.niigatakenju.or.jp/

獣医師生涯研修事業のご案内

今日、獣医師が果たすべき任務および社会的使命は、産業動物臨床、小動物臨床、家畜衛生、公衆衛生等の広範な分野でそれぞれ格段に重みを増してきております。そのような中で獣医師は、変化する社会の多様な要請に対して、日進月歩の獣医学術・技術を積極的に修得しながら迅速、的確に対応していかなければなりません。

このため日本獣医師会は、重要な職責を担う獣医師の皆様が、これまで自助努力により行ってきた自己学習、自己研鑽を一層体系的なものとするよう組織的に支援するものとして、認定システムの導入を含め、その内容を一層整備して獣医師生涯研修事業を本格的に実施しています。

平成16年度学会年次大会（新潟）は獣医師生涯研修事業のポイント取得対象のプログラムとして企画しています。

学会の当日、会場受付にてポイントシールを配布します。学会参加者、発表者（共同研究を含む）は自己研鑽の証としてポイントシールを受け取り、平成16年度の研修実績を平成17年5月末日までに所属獣医師会に申告してください。



学会などへの参加とポイント数

区分	ポイント取得の対象となる認定研修プログラム	ポイント数	
獣 関 連 団 体	①日本獣医師会及び地方獣医師会（地区獣医師会連合会を含む。）が主催・共催する学術研修会・講習会等（運営委員会が定める研修カリキュラムに準拠し、認定したもの）への参加	2時間	1ポイント
	②運営委員会が認定したその他の獣医師関連団体が主催・共催する学術研修会・講習会等（運営委員会が定める研修カリキュラムに準拠し、認定したもの）への参加		
学 術 関 連 団 体	③三学会年次学会への参加	半日	2ポイント
	④三学会年次学会における発表（共同研究を含む）	1日	3ポイント
	⑤地区三学会への参加	1演題につき	1ポイントを加算
		半日	1ポイント
⑥地区三学会における発表（共同研究を含む）	1日	2ポイント	
大 学 等	⑦日本学術会議の登録学術研究団体（運営委員会が認定した団体）が主催・共催する学会、シンポジウム、学術研修会・講習会等（運営委員会が定める研修カリキュラムに準拠するものとして認定したもの）への参加	3時間	1ポイント
	⑧大学・教育・研究機関等が主催・共催する学術研修会・講習会等（運営委員会が定める研修カリキュラムに準拠し、認定したもの）への参加		

一般市民公開シンポジウムのご案内

- ・日本獣医公衆衛生学会企画・文部科学省科研費対象
「食の安全を脅かす人と動物の共通感染症」
2月11日（金）9：00～12：00
- ・日本産業動物獣医学会企画・文部科学省科研費対象
「安全・安心の畜産物生産を目指して—輸入動物に由来する人と動物の共通感染症のリスク管理」
2月11日（金）13：30～16：30
- ・日本産業動物獣医学会、日本小動物獣医学会、日本獣医公衆衛生学会合同企画
「トキの保護と野生復帰への取り組み」
2月12日（土）9：00～12：00

日本産業動物獣医学会 —特別企画—

月日	会場	演題 No.	演 題	演 者 (所属)	時 間	
2月10日 (木)	第I会場 (2階)	学 会 長 挨拶				13:00~
		日本産業動物獣医学会—特別講演				
		・	家畜の生産と福祉	Dr. Stafford (ニュージーランド・Massey 大学教授)		13:10~ 15:00
		日本産業動物獣医学会—シンポジウム I 養豚場における HACCP 方式を取り入れた衛生管理				
		1	生産現場における今後の取り組みと期待	石川 清康 (農水省)		15:00~ 18:00
		2	獣医師の役割 —生産者と消費者を結んで—	島田 隆男 (NOSAI 千葉)		
3	新潟県のクリーンポーク生産農場認定事業への取り組み	石田 秀史 (新潟県中央家保)				
4	疾病管理の実態	有川 彰信 (NOSAI 宮崎)				
2月11日 (金・祝)	第I会場 (2階)	日本産業動物獣医学会—市民公開シンポジウム (平成16年度文部科学省科学研究費補助金対象) 安全・安心の畜産物生産を目指して —輸入動物に由来する人と動物の共通感染症のリスク管理—				
		1	国際的な家畜防疫対策と動物に由来する人と動物の共通感染症の制御 —BSEを改めて検証する—	見上 彪 (食品安全委員会)		13:30~ 16:30
		2	わが国の輸入動物に由来する人と動物の共通感染症の水際作戦 —わが国のBSE研究体制の現状、新たな挑戦—	横山 隆 (動衛研)		
		3	畜産物が媒介する動物に由来する人と動物の共通感染症の危険性 —生産現場におけるBSE対策の実態—	伏見 啓二 (農水省)		
		4	動物に由来する人と動物の共通感染症のリスク管理 —わが国におけるBSEのリスク管理の現状と課題—	吉川 泰弘 (東大)		
	日本産業動物獣医学会—シンポジウム II 牛の気になる疾患、その解明と対策					
	第II会場 (2階)	1	黒毛和種牛における発育不良子牛の病態 —特に内分泌異常の解析—	川村 清市 (北里大)		13:30~ 16:30
		2	黒毛和種子牛のライソゾーム病	大和 修 (北大)		
		3	黒毛和種牛のいわゆる三枚肩の病態解明	内田 和幸 (宮崎大)		
		4	黒毛和種牛の遺伝性眼球形成異常症の病態解明	内田 和幸 (宮崎大)		
		5	黒毛和種子牛の感染性下痢症に対する栄養と末梢血白血球ピュレーション	大塚 浩通 (北里大)		
	第VI会場 (4階)	日本産業動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会—合同シンポジウム 高病原性鳥インフルエンザをめぐる諸問題				
		1	高病原性鳥インフルエンザの疫学	喜田 宏 (北大)		13:30~ 16:30
		2	生産現場における防疫対策の実態 —山口県における発生とその取り組み—	赤木 道博 (山口県畜産課)		
		3	人への感染のメカニズム	堀本 泰介 (東大)		
4		人への伝播をいかに防ぐか	伊藤 壽啓 (鳥取大)			
日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会—合同市民公開シンポジウム トキの保護と野生復帰への取り組み						
2月12日 (土)	第I会場 (2階)	1	佐渡トキ保護センターでの取り組みと今後の期待	金子 良則 (新潟県佐渡トキ保護センター)	9:00~ 12:00	
		2	トキの保護ボランティア活動、その現状と方向性	高野 毅 (トキの野生復帰連絡協議会)		
		3	トキの野生復帰を動物学から検証する	遠藤 秀紀 (国立科学博物館)		

<p>産業動物の一般演題 (口頭発表) 等の日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月10日 (木) 第IV会場 13:00~18:00 地区・記念 ・2月11日 (金・祝) 第IV会場 9:00~12:00 一般・研報 ・2月11日 (金・祝) 第IV会場 13:30~16:30 一般・研報 	<p>小動物の一般演題 (口頭発表) 等の日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月10日 (木) 第III会場 13:00~18:00 地区・記念 ・2月11日 (金・祝) 第III会場 9:00~12:00 一般・研報 ・2月11日 (金・祝) 第V会場 13:30~16:30 一般・研報
---	---

日本小動物獣医学会 —特別企画—

月日	会場	演題 No.	演 題	演 者 (所属)	時 間	
2月10日 (木)	第II会場 (2階)	学 会 長 挨拶				13:00~
		日本小動物獣医学会—教育講演I 小動物の麻酔				
		1	術中・術後の鎮痛法 (仮題)	西村 亮平 (東 大)	13:10~	
	2	プロポフォール麻酔 (仮題)	佐野 忠士 (北里大)	18:00		
	第VI会場 (4階)	日本小動物獣医学会—教育講演II 小動物の栄養と健康			アメリカ・ペットフード協会協賛	
1		諸外国の小動物の栄養と健康に関する情報 (仮題)	Dr. Freeman (アメリカ・タフツ大学准教授)	13:10~		
		2	小動物の栄養学と健康 (仮題)	左向 敏紀 (日 獣 大)	17:30	
2月11日 (金・祝)	第II会場 (2階)	日本小動物獣医学会—シンポジウムI 門脈大静脈シャントの最近の診断と治療 (仮題)				9:00~ 12:00
		1	アメリロイドコンストリクターを用いた治療法 (仮題)	前谷 茂樹 (北海道開業)		
		2	コイルを用いた治療法 (仮題)	浅野 和之 (日 大)		
			3	腹腔鏡による PSS の診断法	坂井 学 (日 大)	
	第VI会場 (4階)	日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会—合同教育講演 動物・人の健康と獣医師				9:00~ 12:00
		1	学校飼育動物の立場から	宮川 保 (新潟県開業)		
		2	展示動物の立場から	福本 幸夫 (広島市安佐動物公園)		
		3	実験動物の立場から	山田 靖子 (国立感染研)		
			4	CAPP 関係者の立場から	山根 義久 (農 工 大)	
	第III会場 (2階)	日本小動物獣医学会—シンポジウムII 脳脊髄疾患—最近の話題—				13:30~ 16:30
		1	壊死性脳炎	松木 直章 (東 大)		
		2	線維軟骨塞栓症	諸角 元二 (埼玉県開業)		
		3	脊髄空洞症	松永 悟 (東 大)		
2月12日 (土)	第I会場 (2階)	日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会—合同市民公開シンポジウム トキの保護と野生復帰への取り組み				9:00~ 12:00
		1	佐渡トキ保護センターでの取り組みと今後の期待	金子 良則 (新潟県佐渡トキ保護センター)		
		2	トキの保護ボランティア活動、その現状と方向性	高野 毅 (トキの野生復帰連絡協議会)		
			3	トキの野生復帰を動物学から検証する	遠藤 秀紀 (国立科学博物館)	
	第II会場 (2階)	日本小動物獣医学会—教育講演III 小動物の画像診断法				9:00~ 12:00
		1	心臓の超音波診断法 (仮題)	萩尾 光美 (宮 崎 大)		
		2	胸部、腹部の超音波診断法 (仮題)	滝口 満喜 (北 大)		
			3	CT、MR の診断法 (仮題)	松永 悟 (東 大)	
	第III会場 (2階)	日本小動物獣医学会—シンポジウムIII インフォームドコンセントとセカンドオピニオン (仮題)				9:00~ 12:00
		1	(タイトル未定)	鷺巣 月美 (日 獣 大)		
			2	()	梶原 葉月 (ペトラヴァーズミーティング代表)	
	第IV会場 (3階)	日本小動物獣医学会—シンポジウムIV 自己免疫疾患に関する最近の知見 (仮称)				9:00~ 12:00
		1	免疫介在性溶血性貧血と血小板減少症 (仮題)	大野 耕一 (東 大)		
		2	全身性紅斑性狼瘡 (SLE) (仮題)	岩崎 利郎 (農 工 大)		
			3	免疫介在性多発性関節炎 (仮題)	望月 学 (東 大)	
第V会場 (3階)	日本小動物獣医学会—シンポジウムV 癌治療の最前線 (仮題)				9:00~ 12:00	
	1	放射線療法 (仮題)	廉澤 剛 (酪農大)			
	2	光線療法 (仮題)	岡本 芳晴 (鳥取大)			
		3	新規化学療法薬、グリバック (仮題)	中市 統三 (山口大)		

日本獣医公衆衛生学会 —特別企画—

月日	会場	演題 No.	演 題	演 者 (所属)	時 間	
2月10日 (木)	第V会場 (3階)	学 会 長 挨拶				13:00~
		日本獣医公衆衛生学会—特別講演				
		・	化学物質による健康被害	塚田 真弘 (新潟県立環境と人間のふれあい館)	15:30~ 18:00	
2月11日 (金・祝)	第I会場 (2階)	日本獣医公衆衛生学会—市民公開シンポジウム (平成16年度文部科学省科学研究費補助金対象) 食の安全を脅かす人と動物の共通感染症				
		1	人と動物の共通感染症について	山田 章雄 (国立感染症研)	9:00~ 12:00	
		2	BSEとヒト変異型クロイツフェルトヤコブ病	池田 正行 (医薬品医療機器総合機構)		
		3	E型肝炎について	武田 直和 (国立感染症研)		
		4	カンピロバクター食中毒の発生とその対応	品川 邦汎 (岩手大)		
	日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会—合同教育講演 動物・人の健康と獣医師					
	第VI会場 (4階)	1	学校飼育動物の立場から	宮川 保 (新潟県開業)	9:00~ 12:00	
		2	展示動物の立場から	福本 幸夫 (広島市安佐動物公園)		
		3	実験動物の立場から	山田 靖子 (国立感染症研)		
		4	CAPP関係者の立場から	山根 義久 (農工大)		
	第VI会場 (4階)	日本産業動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会—合同シンポジウム 高病原性鳥インフルエンザをめぐる諸問題				
		1	高病原性鳥インフルエンザの疫学	喜田 宏 (北大)	13:30~ 16:30	
2		生産現場における防疫対策の実際—山口県における発生とその取り組み—	赤木 道博 (山口県畜産課)			
3		人への感染のメカニズム	堀本 泰介 (東大)			
4		人への伝播をいかに防ぐか	伊藤 壽啓 (鳥取大)			
日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会—合同市民公開シンポジウム トキの保護と野生復帰への取り組み						
2月12日 (土)	第I会場 (2階)	1	佐渡トキ保護センターでの取り組みと今後の期待	金子 良則 (新潟県佐渡トキ保護センター)	9:00~ 12:00	
		2	トキの保護ボランティア活動、その現状と方向性	高野 毅 (トキの野生復帰連絡協議会)		
		3	トキの野生復帰を動物学から検証する	遠藤 秀紀 (国立科学博物館)		
	第VI会場 (4階)	日本獣医公衆衛生学会—教育講演 薬剤耐性菌に関する最近の話題				
		1	国内外における薬剤耐性菌をめぐる状況	田村 豊 (酪農大)	9:00~ 12:00	
		2	臨床現場における抗生物質の使用と薬剤耐性への対応	加藤 敏英 (NOSAI山形)		
3	食品汚染耐性菌の問題	池 康嘉 (群馬大)				

一般演題 (口頭発表) 等の日程

- ・2月10日 (木) 第V会場 13:10~15:30 地区・記念
- ・2月11日 (金・祝) 第V会場 9:00~12:00 一般・研報

日本産業動物獣医学会
日本小動物獣医学会
日本獣医公衆衛生学会

平成16年度学会年次大会(新潟)口演申込書

←該当する学会を○で
囲んでください。

太枠内のみ楷書でていねいに記入してください。
※印欄には記入しないでください。

※口演番号 演題名

氏名・会員番号（発表者氏名〈共同研究者全員を含む〉、フリガナ、会員番号*を記入し、発表者の前に○印を付してください。）

フリガナ

氏名

会員番号

フリガナ

氏名

会員番号

発表者所属（勤務先名）

申込者連絡先（連絡先が勤務先住所の場合は、必ずその名称も記入してください。）

住所 〒

TEL

（内線

名称

FAX

氏名

様

e-mail :

口演区分（該当する区分を○で囲んでください。）

一般口演・研究報告・（ ）地区学会長賞受賞講演

⑨ *会員番号は、日本獣医師会雑誌送付封筒の宛名下部にある数字の左から6桁をご記入ください。

また、地方獣医師会に所属していない学会の会員（正会員B会員、正会員C会員、学生会員B会員）、または日本獣医師会の賛助会員（学生会員A会員、外国、個人）につきましては、その旨を会員番号欄にご記入ください。

なお、獣医師でない共同研究者は「獣医師以外」としてください。

※学会事務局使用欄

登録の確認

会員の確認

《参加登録のご案内》

学会年次大会に参加される方は、以下の方法により登録していただけます。
登録料金は下表のとおりです。

区 分	登録証（プログラム代1冊含む）	懇親パーティー費	合 計
学会会員の事前登録 （平成16年12月31日まで）	8,000円	5,000円	13,000円
学会会員の当日登録 （平成17年1月1日以降当日まで）	12,000円	6,000円	18,000円
学生登録 （事前・当日とも）	4,000円	4,000円	8,000円
会員外の登録 （事前・当日とも）	15,000円	10,000円	25,000円
同伴者の懇親パーティー費は2,000円、プログラムのみの販売は1冊4,000円			（消費税込み）

1. 学会会員とは、地方獣医師会に所属している方および学会正会員B会員、学会正会員C会員、学会学生会員B会員ならびに日本獣医師会賛助会員（学生会員A会員、外国、個人）の方です。学生登録とは、獣医学科に在籍する学生および学会正会員C会員、学生会員として学会に個人入会されている方の登録のことです。会員外の登録とは、学会会員、学生以外の方の登録のことです。
 2. 事前登録は、平成16年12月31日の消印有効とさせていただきます。なお、事前登録された方には、プログラムおよび登録カードを事前にお送りいたします（平成17年1月上旬）。また、一度登録された場合、登録料は返金できませんのでご了承ください。
 3. 懇親パーティーは自由登録制です。会員の親睦のため多数で参加くださいますようお願い申し上げます。
 4. プログラムだけをご希望の方は、在庫がある場合のみ1冊4,000円で販売し、本大会終了後にお送りいたします。
 5. 登録料などの送金は、添付の郵便振替用紙に必要事項をご記入のうえ最寄りの郵便局にてお振り込みください。なお、振替用紙には振込者の電話番号をご記入ください。また、複数で一括して送金される場合は、必ず代表者以外に登録される方々全員のお名前、ご住所をご記入ください（プログラム・登録カードを個々にお送りいたします）。
- *新潟県獣医師会では、特別催事、旅行ツアーなど、いろいろ企画しており、多くの方々のご参加をお待ちしております。

《送金先》

郵便振替口座番号：00680-3-7683 加入者名：社団法人新潟県獣医師会

《登録についての問合せ先》

社団法人新潟県獣医師会 〒950-0965 新潟市新光町15-2 県公社総合ビル TEL025-284-9298 FAX 025-281-1368 e-mail : sinkenju@sage.ocn.ne.jp

会場のご案内

朱鷺メッセ

新潟コンベンションセンター

〒950-0078 新潟市万代島6-1
TEL 025-246-8400(代)
FAX 025-246-8411

●朱鷺メッセへのアクセス

■新潟駅から

- バス〈佐渡汽船行〉……………約10分
- タクシー……………約5分
- 徒歩……………約20分

■新潟空港から

- バス〈新潟駅まで〉……………約25分
- タクシー……………約20分

●Access to Toki Messe

■From Niigata Station

- Bus 〈for Sado Kisen〉……………About 10 minutes
- Taxi……………About 5 minutes
- On foot……………About 20 minutes

■From Niigata Airport

- Bus 〈to Niigata Station〉……………About 25 minutes
- Taxi……………About 20 minutes

